

今回の数字

91,900

作成日：平成 23 年 11 月 11 日

作成元：坂井市役所 企画情報課

TEL:0776-50-3013

FAX:0776-66-4837

MAIL:kikaku@city.fukui-sakai.lg.jp

～坂井市の人口・世帯 H22 国勢調査集計結果より～

平成 22 年 10 月 1 日を基準日として「平成 22 年国勢調査」が実施されました。

国勢調査は、わが国に住んでいるすべての人・世帯を対象とする国の最も基本的な統計調査で、大正 9 年からほぼ 5 年ごとに実施されています。

今回は 10 月 26 日に総務省統計局より公表された、国勢調査人口等基本集計の結果（確定値）から坂井市の人口や世帯の状況についてご紹介します。

□人口等基本集計からわかること

平成 23 年 10 月に「平成 22 年国勢調査人口等基本集計」（確定値）が公表されました。

人口等基本集計とは、国勢調査の結果から、市区町村別の人口の基本属性、世帯の状況や住居について集計したものです。この結果によって、地域の人口、世帯構成や住まい方、高齢化の状況などを把握することができます。

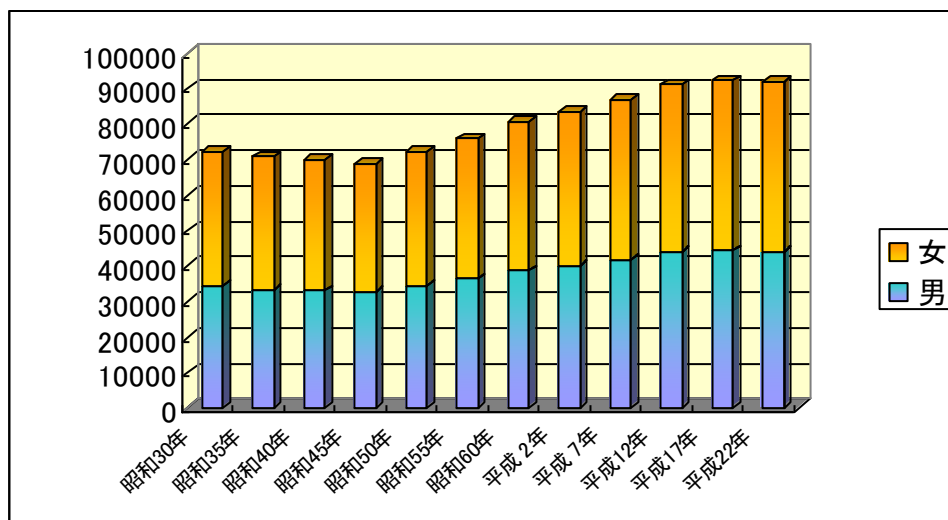
口坂井市の人口は、91,900 人。

平成 22 年国勢調査による平成 22 年 10 月 1 日現在の坂井市の総人口は 91,900 人でした。これは福井市に次いで福井県第 2 位です。坂井市の人口は、昭和 60 年調査以降増加を続けていましたが、今回は前回（平成 17 年）調査よりも 418 人の減少となりました。坂井市の人口増減率はマイナス 0.45%ですが、福井県全体では唯一人口が増加した鯖江市に次いで 2 番目の増減率となっており、他の市町と比べ人口減少は抑えられているようです。

福井県内各市町の人口と増減数および増減率（平成 22 年国勢調査）

	人口(人)	順位	人口増減数(人) (平成17～22年)	順位	人口増減率(%) (平成17～22年)	順位
福井県全体	806,314		▲ 15,278		▲ 1.86	
福井市	266,796	1	▲ 2,348	16	▲ 0.87	4
敦賀市	67,760	4	▲ 642	8	▲ 0.94	5
小浜市	31,340	7	▲ 842	12	▲ 2.62	7
大野市	35,291	6	▲ 2,552	17	▲ 6.74	15
勝山市	25,466	9	▲ 1,495	14	▲ 5.55	13
鯖江市	67,450	5	619	1	0.93	1
あわら市	29,989	8	▲ 1,092	13	▲ 3.51	9
越前市	85,614	3	▲ 2,128	15	▲ 2.43	6
坂井市	91,900	2	▲ 418	4	▲ 0.45	2
永平寺町	20,647	11	▲ 117	2	▲ 0.56	3
池田町	3,046	17	▲ 359	3	▲ 10.54	17
南越前町	11,551	13	▲ 723	10	▲ 5.89	14
越前町	23,160	10	▲ 835	11	▲ 3.48	8
美浜町	10,563	15	▲ 460	5	▲ 4.17	11
高浜町	11,062	14	▲ 568	6	▲ 4.88	12
おおい町	8,580	16	▲ 637	7	▲ 6.91	16
若狭町	16,099	12	▲ 681	9	▲ 4.06	10

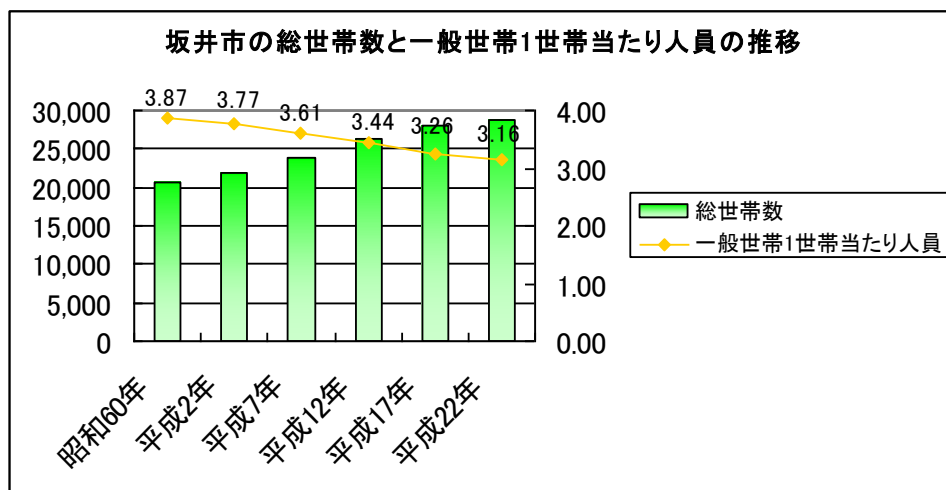
坂井市の国勢調査人口の推移（昭和 30 年～平成 22 年）



□世帯数は増加傾向

総人口は減少しましたが、世帯数は 28,744 世帯と、前回調査よりも 709 世帯増加しています。坂井市の世帯数は増加を続けており、昭和 60 年から平成 22 年の 25 年間で、約 8,000 世帯増加しました。前回調査からの増加率は 2.53%と福井県内 17 市町中 8 番目でした。

しかし、下のグラフを見てわかるように一般世帯(※1)1 世帯当たりの人員は年々減少を続けています。今回の調査では 3.16 人でした。



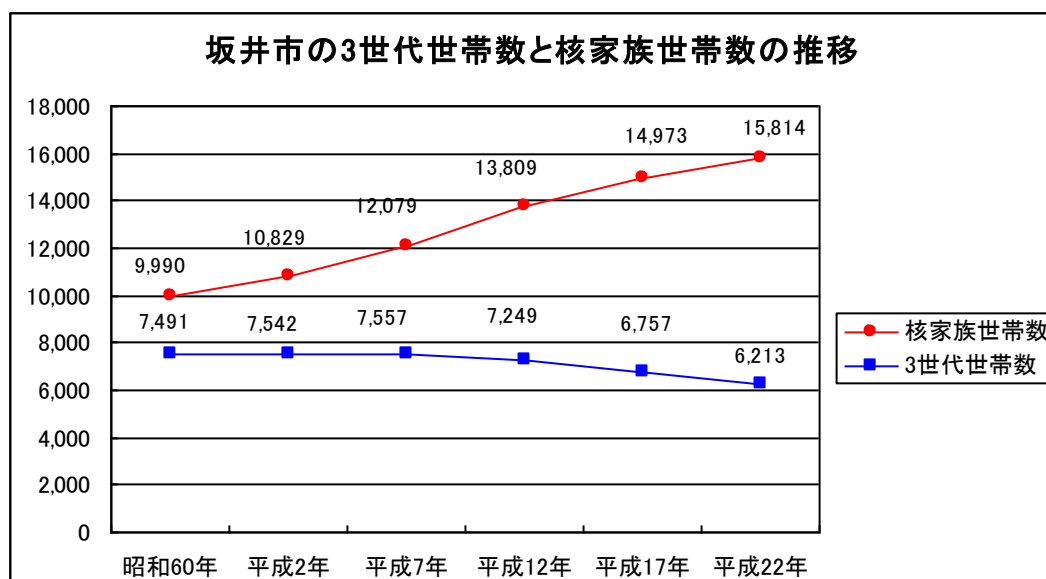
資料：国勢調査報告書

※1 一般世帯：総世帯から学生寮、病院、社会施設等を除いた世帯

□世帯構成の変化

それでは世帯の構成はどのように変化しているのでしょうか。

昭和 60 年調査から今回調査までの坂井市の 3 世代世帯数(※2)と核家族世帯数(※3)の推移をグラフにしてみました。



資料：国勢調査報告書

※2 3 世代世帯：世帯主との続き柄が、祖父母、世帯主の父母（又は世帯主の配偶者の父母）、世帯主（又は世帯主の配偶者）、子（又は子の配偶者）及び孫の直系世代のうち、3つ以上の世代が同居していることが判定可能な世帯。

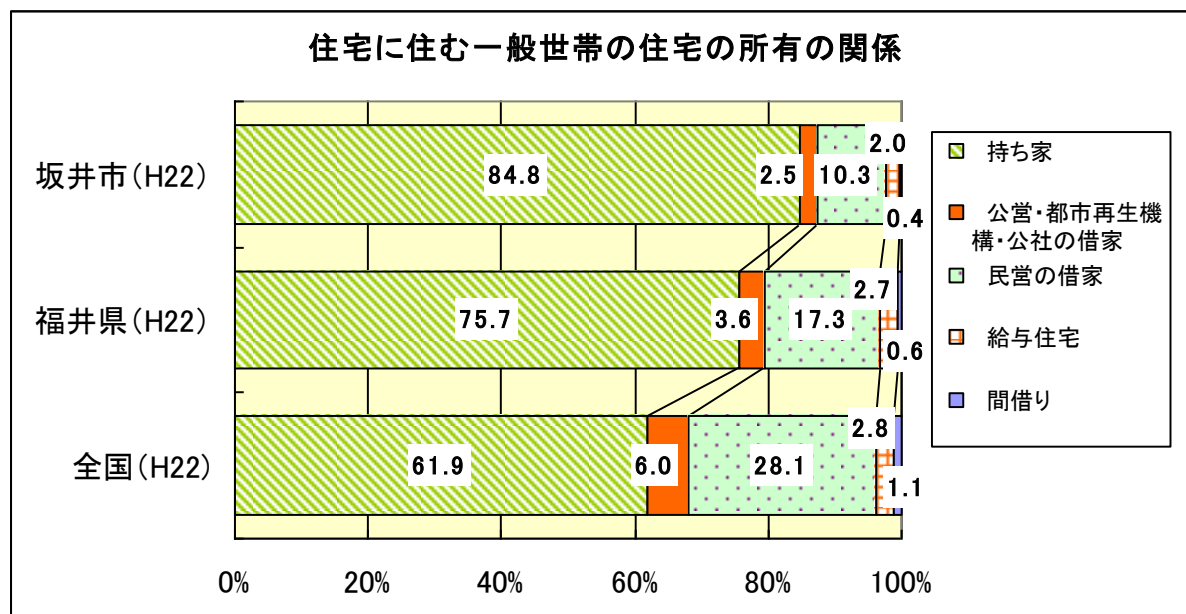
※3 核家族世帯：夫婦のみ世帯、夫婦と子供から成る世帯、男親と子供から成る世帯、女親と子供から成る世帯

グラフから分かるように、昭和 60 年から平成 22 年の 25 年間に核家族世帯数は年々増加し、昭和 60 年から比較すると約 1.5 倍以上になっています。このように少人数の核家族世帯が増えていることも、人口が減少しても世帯数が増加している要因となっていると推測されます。

また核家族が増える一方で 3 世代世帯は年々減少しています。グラフにはありませんが、今回の調査では坂井市の一般世帯に占める 3 世代世帯の割合は 21.6%でした。これは前回調査（24.2%）と比較するとマイナス 2.6%となっています。

□福井県の持ち家率は全国 3 位

国勢調査では世帯の住居の状況（住居の種類や床面積等）も調査しました。



資料：平成 22 年国勢調査

福井県は持ち家率が 75.7%と富山県、秋田県（ともに 78.3%）に次いで全国 3 位でした。また坂井市においても 84.8%と持ち家比率が高くなっています。

国勢調査の基本集計には、今回紹介した人口等基本集計の他、市区町村別の人口の労働力の状態、産業別の就業者数や、夫婦と子どものいる世帯等について集計した「産業等基本集計」、市区町村別の就業者数を職業（大分類）別構成に分けたものや、親子の同居の状況について集計した「職業等基本集計」などがあります。これらは今後順次公表される予定です。